

様式2 【生活様式などの無形のもの】

ふくしまの森林文化調査カード

県 HP公開(  可  否 )

区分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 6. 森の風景
分野 (ふりがな)	(分野) 行 事	(ふりがな) ぎょうじ	
地域独特の呼び方	—	—	
タイトル	山の神講 (1月17日)		
伝承地域	飯館村大倉 (村一円)		
由来	(いつ、どこで、誰によって起こり、どのようにして現在まで (いつまで) 伝えられてきたか) 山の神信仰は全国的に見られるが、飯館村付近では農業の神としての信仰もある。		
内容	(内容と共に、行事・祭りの場合は実施の時期、郷土料理の場合レシピなども) 「山御講」とも呼ばれる山の神講がある。組ごとに宿に集まり、餅を山の神に供えて拝む。供えた御神酒や餅をいただく。餅は米一升を持ち寄って搗き供え、残さず食べる。一升餅を食べたものであるが、御神酒をいただいからは、外に出てはならないし、お茶を飲んでもいけなかった。		
文化財等の指定状況	—		
問い合わせ先	飯館村教育委員会	電話0244-42-1611	

【継承活動を行っている方がいる場合】

個人	氏名 (ふりがな)			※顔写真がありましたら、コピーか電子ファイルをご恵願います。(貼り付けずに、名前がわかるようにして同封ください。)
	性別・年齢 生年月日	男 ・ 女	歳 明治・大正・昭和・平成 年 月 日 生	
	住所・電話	〒	電話	
	職 業			
団体	団体名 (ふりがな)			
	代表者氏名 (ふりがな)			
	団体の設立年月日	明治・大正・昭和・平成	年 月 日	
	問い合わせ先		電話	

【フリーフォーマット】

キーワード

山の神講は、山の神信仰を通して地域の人々のつながりを大切にし、山中安全や豊作を祈願した。

「私たちの生活は単調で、きのうもきょうもあすの日も、似よった暮らし方をくりかえしている。それを後から振り返って見て、ああ生きてきたと思い知るためには、楽しい目標が必要であり、それがただ1年ずつの境を立てるだけでは、まだ足りなかったのではないかと思う。」(年中行事覚書 柳田國男)

写真は、2011年3月11日に発生した東日本大震災後2年ぶりに復活した、相馬市蒲庭地区立切集落の山御講です。

